

里見八犬傳 第四部 血盟八剣士（1954）

メディア 映画

ジャンル アドベンチャー ファンタジー 時代劇

製作国 日本

色彩 B&W

時間 47分

初公開日 1954/06/22

公開情報 東映

【解説】

滝沢馬琴の『南総里見八犬伝』をもとに「近世名勝負物語 黄金街の覇者」の村松道平が脚色し「雪之丞変化」三部作の河野寿一が監督した大作時代劇。全五部作の第四部である。八つの珠を持つ八人の剣士たちの活躍を描く。

犬塚信乃、犬飼現八、島田照夫、角太郎改め犬村大角、犬山道節の五剣士は石浜城に到着。城には犬川荘助と女田楽の且開野、そして浜路が滞在していた。謀反を企む城主の馬加大記は、邪魔者の荘助を殺害しようとする。殿の誕生日にも荘助を殺す計画が実行されるが、それは且開野のおかげで阻止された。且開野は「大記を親の仇とする犬坂毛野の世を忍ぶ仮の姿」であり、その手には「智」と書かれた珠が握られていた。

【クレジット】

監督 河野寿一

原作 滝沢馬琴

脚本 村松道平

撮影 松井鴻

美術 吉村晟

編集 宮本信太郎

音楽 高橋半

照明 福田次郎

録音 中山茂二

出演 中村錦之助

田代百合子

林玉緒 [中村玉緒]

藤里まゆみ

島田照夫

月形哲之介

小金井修

石井一雄

清川荘司

大西三郎

堀正夫

大文字秀介

島田伸

森田肇

小柴幹治
小崎正彦
原健策
千原しのぶ
荒木忍
朝雲照代
山口勇
植木千恵
渡辺篤
薄田研二
初音礼子
東千代之介